かんたろう月

勝又進

しーーィ
のおびィ
泣きィしィてー
からだも
やぁせェ
てェーー
むすぶ
おびにィ
も
女の
なぁ
みだ
やってる
やってる
こんな
わたしに
したまま
気ままァ
まァ
旅に
でーた
ひと〜〜

たびィに
たびィに♪
旅に
でーたたひと♫

うーらみ
わァ
せぬがァ
京子んちの
ねいちゃん
踊ってるぞ

おもい
すうごし
かあー♪
ああ：

ちゃわぁん
ざぁけェー♪
パチ
パチ
パチ

うまいなあ
サコちゃん
スジが
いいな
ほうでも
ねえ
やっぱり
お俊恋唄は
久子ちゃん
だなあ

いいんだけどさ
旅ィに旅ィにのとこ

もちっとせつなくならねえか
せつなく

もっとすねるようにやってごらん
知ャナイ知ャナイってふうに

しゃねしゃねしゃね

もっとせつなく………ヤしゃねく………
波浮の港
の実

次花の三度笠
文吾ちゃん

花の三度笠ぁ
よこちょにかーぶぅり

フワ
おぼろ月夜のォ
旅がーらす

あゆーや
こおやあ
なーしぎィ
よねこちゃん まだ 来てねえな ………

とめずうに
おーくうれェ
あすこは ががさまが うるせえ から
ほだない おどっつあん がだめなん だ

明けりゃ あーしたの
風が 吹く
しゃあ ねえなあ 慰安会まで あと四日し かねえのに
おれ 呼んでくる なッ

こらっ のぞき見 するのは
すけべ だぞ
ガラッ

ちょうど 子役が一人 足りねんだ
さ 中入れ

ほーーッ

ほーーッ

ほーー

みんなまってるだろわりいな
すぐいくから

このお夜出歩くのは
不良だぞ

青年団のシトみんなやってんだもん
いくよ

いくなっ
いくよ

役者の
まねは
やめろっ
ゴン

おれの目の
黒いうちは
ゼッタイ
やらせ
ねえぞ

不良ッ
役者ッ
アプレッ

帰って
くるなっ
バ
全部
戸をたてとく
からなっ

いてえ

おじさん
船乗り
だから
マドロス
帽かりて
きたんだ

あはははっ

なんだ
おまえら
まだしぶっ
てんのか

おしろい
つけて
はいゆう
みてェだぞ
アーッ

おまえ
やれよ

おまえ
やれよ

おまえ
やれ
おら
やんだ
おらも
やんだ

やあなら
でていけ
練習の
じゃまだ

おまえら
慰安会が
終ると
お菓子が
たんと
もらえるぞ

いよっ
ガラッ
やってるネーッ

おばあちゃんッ

又酔ってるねッ
いいじゃあないか

センパイの十八番
ショッ
スリコギ踊りを披露するんだ

やめろっばばァ
なにこのマゴォ

はれっ
のんのこのんのこッ
パチパチ
パチ

しょんべもらすからやめろっやめろっ
ごんごかって
のんのこ

まっくろけでのんのこ
やーんだあおらあ
キャッ
キャッ

のんのこ♪
のんのこ

好かねーッおらあ
アーハハッ

アハアハ
ハノバッバッ
ホーッホッホッ

一升かってのんのこ
のんのこ
のんのこ
の

パチ
パチ
パチ

ひゃーまいったまいった
ハアッ
ハアッ
ハアッ

おらあ死んだじさまにごしゃがれっちゃやー
アハハハハ
フフッ

もいっちょ
今度は正調でいきまス

バアちゃんッ
キャーーッ
パラ

このっ
このっ
このっ
ビッタ
ビッタ
ビッタ

ヒーッ
マゴにぶたれた
マゴにぶたれた
殺されるッ！

エーッ
エーッ
ただいま
マイクの
テスト中

大変ながらくおまたせいたしました
おっ始まるぞっ

おっ、おっトップバッターはおまえのかの女だド
ほうかよ

橋下の良八と共演だぞ
三里もむこうからわざわざポマードつけて碁うちにきたのか、おまえ

ゆーしまぁとおれェばァ思い出すう
♪
♬

おーつた
ちかあらの
ここぉろォ
いーきィ
♪
ピ
ピーーッ
ピーーッ

あの
ムスメこ
だれだべ
ほら
静江さん
の三番目
朝子だっちゃ

あらー
こないだまで
はなたらして
よだれかけ
してたと
思ったら
んめェ
もう
カレ氏が
いるんだと

マー
早稲だ
こと

のおこるう
二人のオ
♪
ひゃー
くっついた
くっついた

かーげ
法師
ィ
♪
ピピーーッ
ピーーッ

ブチッ

空を
ちーどりがァ
とんで
いるう
♪

いまさーら
泣いて
なんとう
しょう
♪

十三夜ね おら達の 時は
直子 ちゃんが やったんだよ

東京さ 嫁に いっちゃっ たから
もう 会うことも ないやねえ

直子ちゃん も赤ン坊つ れて帰って きてるよ
あらーッ ほんとッ 会いてーッ

赤んぼは あねこ? やろこ?
やろこ だって

あらー
会い てーッ

あんた等も いまの うちだよ
こう なっちゃあ おしまいだ

腹へったなァ
メシは何だや
きのこ汁とサンマ

おいなッ
山に枯木とりにいったらさァ
ムラサキシメジがダーッと生えてたよ

雨あがりだでねえ
だだだしーッ

りんごーのはなびらがァーー♪

かぜーにちったよナァ♫

月夜にィ
つきよにィ
そおっとォ
ええ〜〜

つがる
むすめは
ないたとさァ
つらい
わかれを
ないたとさァ

りんごーの
花びらがァー
かぜーに
ちったよなァ
アぁ〜〜

（以下セリフ）
お岩木山の
てっぺんに
わたあみてえな
白い雲が
トットト

ぽっかり
ぽっかり
流れていき
ももの花が咲き
さくらの花が咲き

そっから
早咲きの
りんごの
花っこが
咲くころが
……
ボケー

だども
じっぱり
無情の
雨コさ
降って
……
ニッ

白い花ビラ
を散らすころ
おらあ
あのころ

東京さで
死んだ
おっ母ちゃんの
ことを思い
だす
って
おらあ
おらあ
（セリフ完）

つがるむすめは
ないたとさァ

つらい別れを
泣いたとさァ
みっとも
ねーッ

あー
みっともねえ

このガキ
あっちゃ
行け!

とっぽいよ
なあ
あの野郎
石巻で
ばんちょ
はってんだ
とよ

くせん
なるから
いっぺん
ぶのめすて
やるベェ

みっとも
ねーっ
女の子じゃ
ねいか
くちべに
つけて
白粉
ぬって
あねこ
じゃ
ねーか
ゴッシ
ゴッシ
アー
ハハハハ
さるめん
かんじゃ
学校さ
いったら
はやす
ぞっ
ぜったい
はやす
ぞ
もう
あそば
ねいぞ
もらいっ子

どこへ
帰るか
どこへ帰るか
めおと雁

こえ桶かついだ
勘太郎や
もっこを下げた
お蔦の姿が
見かけられるんだ

しまい